

【学校教育目標】

○広く豊かな心を持つ ○自ら学ぶ ○心身を鍛える

【目指す生徒像】

- ◎他者との共生の中で自分の持ち味を發揮できる生徒
- 主体性と思いやりのある生徒
- 正しい知識と判断力を身に付けた生徒
- 何度でもチャレンジできる生徒

館林市立第三中学校 学校だより

【発行者】第19代校長 橋本文明



全校一心

—「笑顔」「前向き」「感謝」「尊重」—

令和7年1月23日(木) vol. 11

ああ 我が第三中学校 ⑩

- 令和 4年 6月(2022) 放送設備入替
- 9月(同) 被服室にエアコン設置
- 5年 1月(2023) 南校舎外壁工事完了
- 2月(同) 内閣総理大臣補佐官等による視察
- 4月(同) 最後の市春季大会開幕

3学期の三中生への期待キーワード

学力の向上 **強い絆** **交通事故0**



上は、3学期始業式で校長が掲げた3学期の三中生への期待キーワードです。もちろん職員へも同様です。

「学力の向上」のサブテーマは「全員の第1希望への合格」。もちろん3年生は、目前に迫っているあるいはすでに試験を行っている状況ですので、第1希望への合格ができるように頑張っていることだと思います。1,2年生については、近い将来やってくる高校受験で自分の希望が叶うように、今から着実に学力をつけて伸ばしてほしいということです。

「強い絆」のサブテーマは「いじめや乱暴な行為なし」。お互いの立場を考え、相手の身になって考え行動できる人になってほしいという願いです。これは、常々校長が言っている「感謝」「尊重」のことです。

「交通事故0」のサブテーマはありません。そのものズバリです。この3学期という短い期間ですが、ささいな接触事故も含め、生徒及び職員の交通事故0の連続日数を延ばしていきましょう。

全国学校給食週間 1月24日～30日

地域住民等の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に、毎年1月24日から30日までの1週間を全国学校給食週間と定めています。

本校では、担任が毎日給食指導(栄養指導)を行っています。校長も給食時間に各教室をまわり、生徒の食事の様子を観察しています。これに加え、2学期からはフードロス問題にも無理のない程度で取り組んでいます。できるだけ残飯が少なくなるように学校全体で取り組むことで、自己の健康な体作りや作っていただいた方たちへの感謝、そして館林市の残飯処理料の減少につながります。



1年全学級の1/16給食後の残量は全て0(完食)でした!

文部科学省では、学校給食の意義、役割等について児童生徒や教職員、保護者、

インフルエンザや新型コロナに感染し、完治して再び登校する場合、「療養証明書」が必要です。そのデータは保護者の方には1/19に H&S で送信しました。また、本校 HP「各種ダウンロード」に掲載してあります。ご利用ください。



三中 HP

インフルエンザ(感染症)対策

本校では、1月15日頃からインフルエンザに感染する生徒が微増し始めました。

インフルエンザの予防には、まず**手洗いとマスク着用**。そして、拡散を防ぐにもエチケットとマナー、そして**自分と他者への気遣い**です。

集団感染にならないために大切なことは**鼻エチケット**。ウイルスが強毒性になってしまった場合は人の命にも関わります。鼻をかんだ後のティッシュ等のゴミの扱いにも気を付けましょう。

ウイルスを広げないための必須アイテムは**マスクと消毒液**。マスクをすれば完全ということではありませんが有効であることは事実です。また、咳をした後や鼻をかんだ後に、いちいち手洗いをするのは大変なので、消毒液でサッと消毒することが有効です。

さらに、感染を拡大させないようにするには**「休む勇氣」**も必要です。無理して登校して、ウイルスを他者へうつしてしまうのはとんでもない迷惑です。思い切って休養をとることは、自分や他者への優しさでもあり思いやりです。

加えて、新型コロナウイルスやノロウイルス、マイコプラズマ肺炎等の存在も忘れてはなりません。

生徒も保護者の皆さんも職員も、健康は自分で守っていきましょう!



SATO-NUMAヨシ工作



に挑戦しました。作品は、コースターとヨシ灯りです。

講師には、渡良瀬くらぶ代表の荒畑氏を中心に、市文化振興課より館林市日本遺産推進係の職員及び里沼推進サポーターを迎え、手厚くワークショップをしていただきました。

ヨシ灯りを完成した後、内部に灯をともし、鑑賞会を行いました(右写真)。とっても幻想的で、生徒たちも大変喜んでいました。次は、美術部が行う予定です。

1月14日(火)5-6校時に、1くみと2くみの生徒4名(欠席者がいたため少なくなりました)が、祈りの沼・茂林寺沼で刈ったヨシを再利用した作品づくり



1年生 百人一首大会

1月15日(水)6校時に、

かるた大会遊びを体験し、日本の文化や伝統に親しみ、その心に触れるとともに、古典や古語に対する興味・関心を高める。

ことを主たる目的として、体育館で学級対抗戦及び個人戦として競い合いました。

12月ころから、1年生は国語の授業で、班ごとにかかる遊びを通して百人一首に取り組んできました。校長が授業を参観しに行く度に、とるスピードが上がり、とれる枚数も増えていて、学習の成果がでていのだなと感心しました。

本大会でも、いくつかのきまりを守りながら、集中して熱心にフェアに臨んでいました。読み手の先生が上の句を少し読んだだけでとれてしまう生徒をはじめ、どの生徒も授業時とは比べものにならないほど上達していたことにびっくりしました。

百人一首の授業も一段落しますが、これで終わりではなく、好奇心を出して、他の文学や歴史、地理、数学、修学旅行へと興味を發展させていってほしいと思います。

百人一首から、その時代の出来事やその句を作った思い、景色に思いをはせてみてはいかがでしょうか?



学級対抗戦

優勝：1組 準優勝：2組

個人戦

- 1位(64枚) 1組女子
- 2位(57枚) 1組男子
- 3位(47枚) 1組女子
- 4位(45枚) 3組女子
- 5位(43枚) 1組男子
- 7位(42枚) 1組男子
- 8位(41枚) 3組女子
- 3組女子
- 3組女子

※HP掲載のため、氏名の標記はいたしません

